

1 塗装対象

屋内木部(天井、床、腰板等)全般
木製家具 / 木製建具

2 仕上げ

| カラー | 塗装後の仕上がり |
|------------|---------------------------|
| VP01 クリアのみ | 半透明仕上げ～やや艶色仕上げ / 2分ツヤ～半ツヤ |

3 塗装工程

| 工程 | | 塗料製品名 | 希釈剤 (希釈率%) | 標準塗布量 (ml / m ²) | 塗り回数 | その他 |
|------|--------------------------|--|---------------|---------------------------------|------|--------|
| 事前準備 | ① 有償サンプル | 事前にサンプルを入手し、ご利用の木での試し塗りを推奨。(当社ホームページよりお問合せください) | | | | |
| | ② 塗装する木材の確認 | 塗装する木材の、①以前の塗装の有無、②浸透型塗料で塗られているか、③経年度合いを確認します。無垢の場合は含水率20%以下を推奨。 | | | | |
| | ③ 汚れ取り | 埃、水分、油分、ヤニは予め除去します。場合によっては、研磨、溶剤処理にて表面をきれいにしてください。 | | | | |
| | ④ サンドペーパー掛け | 必要に応じて、サンドペーパー(#400～600が目安)にて研磨してください。(必要以上に研磨を行うと、以前の塗装が剥がれます) | | | | |
| 塗装工程 | ⑤ 攪拌 | 使用前によく攪拌してください。(抗ウイルス・抗菌の成分が底に沈殿しているため、よく攪拌してください) | | | | |
| | ⑥ 1回目 本塗装 | 木守り専科 VIRUS Protect(VPクリアのみ) <small>☞ 告示対象外製品。F☆☆☆☆と同様使用面積制限はありません。</small> | 無希釈 | 約50～75 | 1回目 | 薄塗り仕上げ |
| | ⑦ ふきとり(不要) | 抗ウイルス・抗菌効果を実現するため、塗りっぱなしで施工。ふきとりの必要はありません。 | | | | |
| | ⑧ 乾燥 | 1回目を塗装後、約24時間程度乾燥させてください。だいが経年した木材、吸い込みが激しい木材の場合は、2回目の塗装を行ってください。 | | | | |
| | ⑨ 2回目 本塗装 (経年した木材の場合) | 木守り専科 VIRUS Protect(VPクリアのみ) <small>☞ 告示対象外製品。F☆☆☆☆と同様使用面積制限はありません。</small> | 無希釈 | 約50 | 2回目 | 薄塗り仕上げ |
| | ⑩ ふきとり(不要) | 抗ウイルス・抗菌効果を実現するため、塗りっぱなしで施工。ふきとりの必要はありません。 | | | | |
| | ⑪ 乾燥 | 2回目を塗装後、24時間以上乾燥させてください。(寒い時期、湿度が高い時期は、通常よりも2倍程度乾燥時間を設けてください) | | | | |

4 注意事項

- ① 本塗装は、刷毛(市販の油性塗料用で、豚毛、馬毛等やや硬めのコシの強いもの)、またはコテバケ、スポンジ、布(ウェス)等で、薄く均一に行ってください。(ガン吹きも可能)
- ② 塗装用具の洗浄には「U-OIL専用クリーナー」をご利用ください。(パンフレットを参照)
- ③ 塗装は薄塗りで仕上げてください。厚塗りをすると乾燥の遅れや、塗装ムラを引き起こす場合がありますので、ご注意ください。
- ④ 夏場の高温時は乾燥が速まり、塗料の硬化スピードも速くなります。冬場の低温時、湿度が高い時は、乾燥が遅くなりますので、長めに乾燥時間を取ってください。
- ⑤ 使用した刷毛、コテバケ、スポンジ、布(ウェス)等は自然発火の恐れがありますので、水を含んだ状態、または焼却にて処分してください。
- ⑥ 木守り専科 VIRUS Protectは、浸透型塗料のため、ウレタン等の造膜型塗料で塗装した箇所には塗装できません。予めご注意ください。
- ⑦ かなり経年した木材ですと、吸い込みが激しくなり、期待される抗ウイルス・抗菌効果が発揮できない場合があります。予め研磨等で下地を調整してください。
- ⑧ 上塗り塗装の際、以前の塗装から半年以内の場合は、乾燥が遅くなる場合がありますので、予めご注意ください。

